

日本医師会 第33回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（C B T ・ O S C E）の標準化などの取り組みが重ねられてきた。令和3年の医師法改正により共用試験が医師法に位置づけられ（令和5年4月1日施行）、診療参加型臨床実習の実質化が期待される。

かかる状況の下、医学部・医科大学では、地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められており、本ワークショップは、卒前臨床実習および臨床研修制度における指導医としての教育能力を身につけることを目的として開催するものである。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成21年4月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主 催 日本医師会

テーマ 研修医へのカリキュラム立案

日 時 2022年7月30日（土）9時00分～7月31日（日）17時00分

会 場 日本医師会館 5F会議室

方 法 2日間のワークショップ形式（講習時間16時間20分）¹

※宿泊の手配は受講者自身が行うものとし、宿泊料は受講者による自己負担とする。

参加者 24名

都道府県医師会推薦参加者（7年以上の臨床経験を有する者）

*日本医師会員を優先します。

¹ ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによるワークショップに変更する場合がある。オンラインの場合には、講習時間等に変更が生じる。オンラインとした場合の実施方法の概略は以下のとおりである。

1. インターネット回線を利用したオンラインによるワークショップ（事前学習を含む。）となる。
2. 受講者は、各々都合のよい場所からパソコンを用いて参加する（スマートホン、タブレットでの受講はできない）。
3. その他詳細は別途通知する。

申込方法 都道府県医師会を通じて申し込む。

参加費用 日本医師会員 4万円

都道府県医師会員または郡市区医師会のみ 6万円

非会員 8万円

＊事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返金いたしません。

修了証 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成16年3月18日付け医政発第0318008号）に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度 14.0単位・9カリキュラムコード

カリキュラムコード

「1：医師のプロフェッショナリズム」、「4：医師－患者関係とコミュニケーション」、「5：心理社会的アプローチ」、「6：医療制度と法律」、「7：医療の質と安全」、「10：チーム医療」、「12：地域医療」、「15：臨床問題解決のプロセス」、「0：最新のトピックス・その他」

ワークショップスタッフ

ディレクター

松原 謙二 日本医師会副会長

羽鳥 裕 日本医師会常任理事

チーフタスクフォース

福井 次矢 東京医科大学茨城医療センター病院長

タスクフォース

内田 博 東京都健康長寿医療センター麻酔科専門部長

倉本 秋 一般社団法人高知医療再生機構理事長

小林 大輝 東京医科大学茨城医療センター総合診療科教授

高村 昭輝 富山大学医学部教授

羽金 和彦 宇都宮保健所所長

事務局

日本医師会生涯教育課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

e-mail : syogai@po.med.or.jp

TEL 03-3942-6139（直通）

第33回 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」プログラム
テーマ「研修医へのカリキュラム立案」(案)

第1日 2022年7月30日(土)

時刻	形式	所要時間	内 容
			受付
9:00		10分	プレテスト
9:10			開会 ディレクター・タスクフォース挨拶
9:20	P	30分	参加者他己紹介(2分+2分、1人1分)
9:50	PL	10分	ワークショップとは
10:00	(1時間10分)		GW1:あなたが今思う「理想の医師はどんな医師？」
(10:00)	PL	10分	KJ法
(10:10)	G	40分	I 10分, G 30分
(10:50)	P	20分	発表・討論(各グループ 6分40秒 : 発表5分、討論1分40秒)
11:10	PL	30分	最近の卒前教育の現状
11:40		休憩	憩(5分)
11:45	PL	30分	医師臨床研修制度の理念と概要・到達目標・修了基準)
12:15	PL	30分	カリキュラムとは
12:45		昼食	(50分)
13:35	(2時間40分)		GW2:教育目標
(13:35)	PL	20分	教育目標とは
(13:55)	G	10分	ユニットテーマの選択
(14:05)	G	100分	教育目標作成
(15:45)	P	30分	発表・討論(各グループ 10分: 発表6分、討論4分)
16:15		休憩	憩(5分)
16:20	(3時間00分)		GW3:教育(学習)方略
(16:20)	PL	20分	教育(学習)方略とは
(16:40)	G	110分	教育(学習)方略作成
(18:30)	P	45分	発表・討論(各グループ 15分: 発表9分、討論6分)
(19:15)	PL	5分	SPICES model
19:20	P	10分	第1日目の評価記入
19:30			第1日 終了

I (Individual work): 個人作業

PL (Plenary lecture): 全体講義

G (Group work): グループ作業

P (Plenary session): 全体討論

第2日 2022年7月31日(日)

時刻	形式	所要時間	内 容
9:00	P L	5分	振り返り
9:05	(2時間40分)		GW4: 教育評価
(9:05)	P L	5分	プレ教育評価演習
(9:10)	P L	20分	教育評価とは
(9:30)	G	85分	教育評価作成
(10:55)	P	36分	発表・討論 (各グループ 12分: 発表7分、討論5分)
(11:31)	P	9分	教育評価まとめ
(11:40)	P L	5分	ポスト教育評価演習
11:45		昼 食 (50分)	
12:35	P	5分	教育評価演習結果発表
12:40	P L	30分	コーチング (動画)
13:10	(1時間40分)		SEA ¹ Session
			テーマ: 研修医の指導方法
(13:10)	P L	5分	トリガー動画視聴
(13:15)	P L	15分	SEA 体験説明
(13:30)	G	15分	SEA 体験
(13:45)	P L	5分	「SEA 体験」作業指示
(13:50)	G	25分	SEA 体験 (プロダクト作成)
(14:15)	P L	15分	SEA 体験全体発表
(14:30)	P L	15分	SEA 体験解説
(14:45)	P L	5分	トリガー動画改善版視聴
14:50		休 憩 (5分)	
14:55	(1時間25分)		GW5: 指導医に求められる資質・能力
(14:55)	P L	10分	KJ法
(15:05)	G	50分	指導医に求められる資質・能力作成 (2次元展開法)
(15:55)	P	25分	発表・討論 (各グループ6分、全体討論7分)
16:20	P	5分	ポストテスト
16:25	P	30分	第2日目の評価記入・提出 プレテスト・ポストテスト結果発表 参加者コメント (1人30秒)
16:55			修了証授与 閉会挨拶 閉会
17:15			終 了

¹ Significant Event Analysis、事例や症例に関して当事者が深く振り返り、言語化し、今後の改善に対する提言をする。大西弘高、錦織宏、藤沼康樹、本村和久「Significant Event Analysis: 医師のプロフェッショナルリズム教育の一手法」(家庭医療 14 巻1号) 4 頁。

2022 年 7 月 30 日（土）・31 日（日）開催

(申込締切：2022年6月3日（金）必着）

第33回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」

【参加申込者送信用紙（都道府県医師会専用）】

都道府県名 医師会（事務担当者： ）

申込人数 名

※参加者ご推薦に当たって、以下ご確認ください。

(「WS」とはワークショップをいう。)

1. 都道府県又は郡市区医師会員○×

※参加費に影響しますので、必ずご確認ください。

2. 貴医師会として参加希望者に優先順位がある場合は次のように記入してください。

※参加希望申込用紙の「摘要欄」に優先順位順（１， ２， ３， …）

を記入のうえ、参加希望申込用紙を1. から順番に並べてください。

※代理で申込みされる場合、必ず参加希望者本人から上記事項の承諾を得てください。